

第27回岩手県高等学校新人なぎなた大会 新型コロナウイルス感染症対策に関わるガイドライン

岩手県高体連なぎなた専門部

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、以下に示す感染症防止対策を講じ運営します。

1 大会開催における基本的な対応

- (1) (公財) 日本スポーツ協会及び(公財) 全日本なぎなた連盟が示すガイドラインに沿って大会を運営する。なお、国や県からスポーツイベント等の中止の行動制限がかけられた場合は中止とする。
- (2) 大会参加は、生徒本人と保護者の同意を得ることとし、参加を強制しない。
- (3) 大会当日の会場への入場は、選手（エントリー以外の部員の入場も可）、大会役員、競技役員、引率者・部活動顧問（当該校教職員）、監督（当該校学校長より依頼された者を含む）、外部指導者、外部コーチ（当該校学校長より依頼された者）、報道関係者、写真業者、保護者とする。

2 参加者（役員・選手・監督・保護者等）の対応

- (1) 大会参加者は、参加当日に指定のフォームに入力するか、「大会参加に関する確認書」（別紙1）を受付に提出すること。
- (2) 選手は必ず、保護者の同意を得ること。「参加同意書」（別紙2）を顧問に提出し、顧問は、各学校で保存すること。
- (3) 大会期間中の行動については、各自記録をとっておくこと。
- (4) 手洗いは30秒以上行い、アルコール等で手指消毒を実施すること。
- (5) 三密（密閉・密集・密接）を避けること。
※更衣室・休憩・待機スペース等は換気を徹底するとともに、入室時はゆとりを持った人数に配慮すること。
- (6) 対人距離を確保すること。
※出来るだけ2mを目安にし、最低1mを確保するよう努力すること。
- (7) 大きな声で会話、応援をしないこと。
- (8) つばやたんを吐く行為はしないこと。
- (9) タオルは共用しないこと。
- (10) スポーツドリンク等は回し飲みしないこと。
- (11) 飲食物を手にする際は手洗い、手指消毒を行うこと。
- (12) 飲食は周囲の人と距離をとって対面を避け、黙食とし、会話の際はマスクを着用すること。
また、水分補給等でマスクを外した状態では会話をしないこと。
- (13) ゴミはビニール袋に入れ、決められた場所以外に捨てないこと。ゴミ捨て場が無い場合は、原則として各自持ち帰ること。
- (14) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門部委員長に対し速やかに報告すること。

3 大会運営における対応

(1) 競技について

- ①選手は、試合競技においては、マウスシールドを装着した面及び、マスク等の口を覆うものを着用すること。演技競技においては、白色の不織布マスクを着用すること。
- ②審判員は、マスクを着用して審判業務にあたる。
- ③上記①②以外の参加者については、常時マスクを着用すること。
- ④応援は声を出さず、拍手のみとする。
- ⑤開閉会式は、簡素化を図り実施する。整列の際は2 mを目安にして間隔をとるよう指示する。

(2) 運営について

- ①会場入口、控室入口、役員席付近にアルコール消毒を設置する。
- ②会場内は、換気を行う。
- ③競技用具（審判旗、タイマー、待機用の椅子等）、複数の参加者が触れる場所については、アルコール消毒を行う。
- ④会場設営は、密集を回避するため、一席分の空間を設ける。
- ⑤参加者に対し、手指消毒の徹底、ごみの持ち帰りの指示等、放送でアナウンスを行う。

4 感染陽性者及び濃厚接触者等の対応

- (1) 感染陽性者は大会に参加することができない。保健所及び医師から指示された健康観察期間（自宅待機）の解除後も、咳などの身体症状が残る場合は、大会参加を自粛するなど、各学校で適切な対応をすること。
- (2) 濃厚接触者は、PCR検査や抗原検査が陰性であっても、保健所で指示された健康観察期間（自宅待機）は、大会に参加することができない。
- (3) 濃厚接触者の疑いがあり、保健所等から「濃厚接触者に該当しない」と判断されるまでは、体調等にかかわらず、大会参加を見送ること。
- (4) 学校が休校措置になっている場合は、チーム及び個人（生徒）の大会参加を見送ること。また、学年閉鎖、学級閉鎖になっている場合は、当該学年、学級に所属する生徒の大会参加を見送ること。
- (5) チーム内で大会一週間前から前日までに部活動が起因する小規模クラスターが発生したチームは、大会参加を見送ること。
- (6) 感染陽性者あるいは濃厚接触者が出た場合、感染拡大の対策として、大会開催を中止する場合があること。